

[ユーコープ協力会] 協力会 NEWS

NO. 6

2019年9月

年1回発行

ユーコープ協力会 会長あいさつ

ユーコープ協力会の皆様に於かれましては、平素より当会活動に一方ならぬご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成から令和へ元号が変わった今、「人生100年時代」が若年層からシニア層まで幅広く認知され、生活資金等の経済面や健康面等の負の側面がクローズアップされることで、我々の将来への不安は増大する状況にあります。節約への概念も、金銭面の「省出費」のみならず、「省時間」「省手間」といった考えが一般的になり、多種多様な生活スタイルが生まれ、若年層からは物の「購買による所有欲」が失われる一方で、「シェア（共有）」という新たな価値観が主流となり、ビジネススタイルも大きな転機を迎え、今後益々変化するものと予測されます。

こうした中、来年の東京オリンピック開催を控え、いよいよ本格的な5G社会の実現に向けての準備が急速に進んでおります。第5世代移動通信システムは、現在の4Gと比較し100倍の超高速通信が可能、且つ多数同時接続、超低遅延により我々の生活は劇的に変化します。人々は自動運転車で様々な店舗に出向き、自動認識にてレジで待たされることも、現金の支払いも無く完全キャッシュレスという無駄の無い買い物が可能となります。小売業も人手不足の解消に繋がる上、より詳細な顧客データ収集が出来、経営の効率化が図れます。こういったテクノロジーの進展が今後の小売業の発展に大きく繋がって参ります。

このような環境変化の中、ユーコープ様は2020年ビジョン「人と人をつなぎ、生きるを支える」を掲げられ、2019年度は「すべては目の前の組合員のために」を経営基本方針とし、「人と人との繋がり」と「誰もが幸せに暮らせる地域社会づくりへの参加」をこれからの事業の方向性を示すキーワードとされております。

組合員の声に耳を傾け、ユーコープ様の価値を伝える重要な取り組みとなっておりますオリジナル商品「ユーコープセレクション」の認知度も年々上がり、開発も一層強化されておられると伺っております。

宅配事業では組合員の声に応えた品揃え実現の為「らくうまミールキットメニュー拡大」「アレルギー配慮商品カタログ発行」「地域限定地元野菜の取り扱い」などの取り組みを実施しております。また多くの組合員に商品価値を伝え、もっとその商品を好きになってもらいたいとの想いから、職員向け商品学習会の回数を増やすなど、更なるレベルアップに取り組んでおります。

店舗事業では利用が増える循環づくりを進めるため、SNSでの情報発信による来店のきっかけ作り、組合員の声



ユーコープ協力会
会長

森山 透

に応える売場づくり等を進めて行くことで、各部門・店舗毎の課題を明確化し、課題解決に取り組んでおられます。

更に、ユーコープ様は食品廃棄の削減に向けた取り組みにおいても「公益社団法人フードバンクかながわ」の事業展開を通じて、社会福祉活動や資源・環境保全の増進に寄与されております。

私ども協力会メンバーは前述の両事業やユーコープ様の取り組みに対して、全力を挙げてご支援申し上げる所存で御座います。

今期も会員各社様と一緒にユーコープ様の活動を全面的に支援し、盛り立て、目標達成に向け全力を尽くして参りますので、引き続き皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。

ユーコープが取り組んできたこと

フードバンクへの寄贈



物流センターや宅配センター、店舗からまだ食べられる食品（パッケージのキズ、凹み、余剰品、直前の受注キャンセル品、破袋米など）を、「公益社団法人フードバンクかながわ」（神奈川県）、「非特定営利活動法人フードバンクふじのくに」（静岡県）、山梨県の行政団体を通じて寄贈しました。

プラスチックごみ問題への対応

プラスチックの使用量を減らす取り組みをすすめています。旧来から取り組んできたマイバック持参運動に加え、容器包材の使用量削減や、日本生協連と協力し、商品の原材料や素材を環境負荷の少ないものに見直す事を検討しています。再生PETを利用したリサイクルループの確立や、植物由来PET、生分解プラスチックについての情報収集もすすめています。また、組合員とともに、プラスチック問題についての学習会の開催や、ごみの分別による資源の有効活用などの啓発をすすめます。

多彩な交通安全教室を開催

「配達時の事故を無くすのと同時に、地域の交通事故もゼロにしたい」という思いでスタートした交通安全教室。当初はユーコープから地域の幼稚園などに声を掛けての開催でしたが、口コミや横のつながりなどで徐々に知名度が上がり、2018年度は神奈川県・静岡県・山梨県合計で64会場に広がりました。最近では幼稚園・保育園だけでなく、中学校や学童施設、年配の方が集まるサロンや就労支援施設などからも依頼をいただくことが増え、依頼者の希望に沿ったプログラムを構築しています。



フードドライブの取り組み



店舗にお持ちいただいた家庭で眠っている食品をフードバンクに集め、フードバンクから行政や社会福祉協議会・支援団体を通じて食べ物を必要としている方々にお渡しするフードドライブの取り組みをすすめています。2018年度8月と1月に実施したフードドライブでは81店舗から寄せられた4,490.8kgの食品をフードバンク等に寄贈しました。

公的機関の「地域の見守り」の取り組みに協力



ご自宅へ定期的に商品をお届けする事業特性を生かし、宅配事業（おうちCO-OP）と配食事業（夕食宅配マイシイ）では、公的機関がすすめる「地域の見守り」の取り組みに協力しています。2018年度は配送担当者からの通報が、26件の異変の発見や救命につながり、神奈川県知事より感謝状を授与されました。

LGBTQ積極的受け入れに向けた職場環境の整備をすすめています



役員をはじめ、店長、センター長、本部管理者、子会社を対象としたLGBTQ学習会を開催し、Ally意思表示をした職員（2019年4月30日時点78名）に対し「Be Ally」※の缶バッジ・シールを配布しています。また、採用時の性別記入の任意項目への変更や、家族手当、育児・介護休暇、福利厚生制度（慶弔など）のLGBTQ適用拡大など、多様性を互いに認め合う組織風土づくりをすすめています。

※当事者でない人が、LGBTQを理解し、支援すること。

外国人の採用と雇用定着に向けた取り組みをすすめています

現在、12カ国・38名の外国人が在籍していますが、うち14名がベトナム人です(2018年12月末時点)。それぞれの職場には、ベトナム人の仲間がいない場合が多いことから他国で働き、生活することの心細さや不安を少しでも解消するため、ベトナム人職員交流企画を開催しています。職員やその家族が店舗のコミュニティルームに集い、ユーコープの店舗で手に入る食材でベトナム料理を作り、ベトナム料理とベトナム語の会話を楽しみました。



協同組合間協同 ～湘南辻堂とれたて市～

湘南辻堂駅前店(神奈川県藤沢市)の店内と店頭で、農協(JAさがみ)と漁協(県漁連)、生協(ユーコープ)の3者共同企画の協同組合フェア「湘南辻堂とれたて市」を開催しました。当日は地元の農産物や海産物の試食・販売のほか、各組合の認知度に関するアンケートを実施しました。2018年12月には、萩園店(神奈川県茅ヶ崎市)の駐車場でJAさがみによる、とれたてトラック市を開催。JAさがみの「野菜を売る場所がほしい! 地産地消をすすめたい!」という思いと、ユーコープ萩園店の「新鮮な地場野菜を組合員にすすめたい!」という思いが一致したことで実現し、当日は軽トラック3台の荷台を使って野菜と花を販売しました。



「食DE健康」私の健康・食習慣チェック 「食習慣質問票(BDHQ)」



イベント会場や店内で、東京大学大学院監修の「食習慣質問票(BDHQ)」を実施しています。BDHQとは、15分程度の簡単な質問項目に答えることで栄養バランスや食習慣の改善点などのアドバイスが受けられるシステムです。2017年度から始まり、ユーコープ組合員・職員約900人がこのBDHQに参加し、結果票とアドバイスを受け取りました。

育児休職取得者の交流会

職員が安心して育児休暇の取得と復職の準備ができるよう、育児休職取得者を対象とした交流会を開催しています。交流会の間、子どもたちは別室で保育サービスを受けることができるので、ひと足先に復職した先輩ママの保育園選びや復職に向けたアドバイスをじっくりと聞くことができます。同じ立場の職員同士がつながることで、焦りや不安の軽減、復職に向けた情報取得の機会の場となっています。

東日本大震災復興支援

東日本大震災から8年経ちましたが、今も支援を必要としている方がいらっしゃいます。ユーコープではこれからも被災地を訪ね、被災者の思いや願いに寄り添った支援を続けていきます。



「ふれあいサロン(喫茶)」に
3県の特産品や銘菓を送付
(2018年度21回実施)



福島ふれあいサロンにボランティア参加で交流
(2018年度5回実施)



福島を訪ね、福島の実状を知る福島訪問(2018年度5回実施)

ユーコープ協力会 第6回総会と ユーコープ方針説明会を開催しました

7月23日(火)、新横浜プリンスホテルで「ユーコープ協力会第6回総会」および「ユーコープ方針説明会」を開催し、協力会会員302社の計582人の方にご参加いただきました。

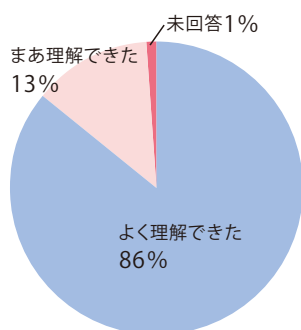


▲ユーコープ協力会 第6回総会では、協力会の活動・収支の計画と報告4議案が全て可決されました。

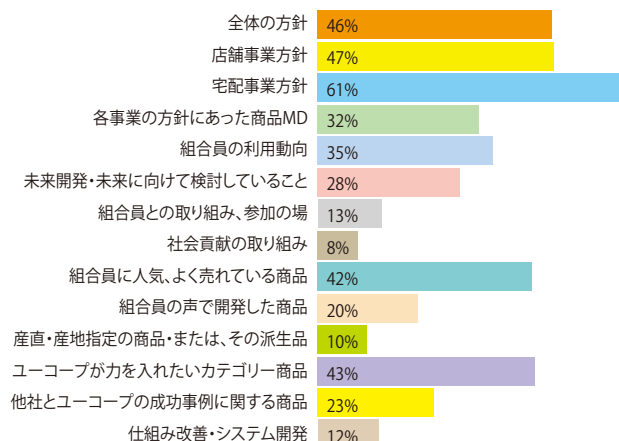
◀総会後のユーコープ方針説明会ではユーコープ2018年度の到達点と2019年度の取り組みについて、代表理事 常員 伸一が報告しました。

【参加者アンケート結果】

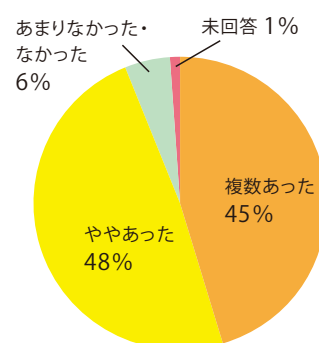
設問1 ユーコープの方針・考え方 今後の取り組みについて



設問2 今後、方針説明会で 知りたい情報(複数回答)



設問3 今後提案につながるような 内容・興味がもてる内容



※協力会は、会員相互の親睦と、相互に情報交流を行い会員の利益の増進をはかるとともに、ユーコープの組合員のくらしの向上に貢献することを通じて共存共栄をはかることを目的としています。 会員数320社(2019年7月現在)